



◀一株一株丁寧に刈り取りました

収穫体験を通じて食と農のつながりを実感

青年部

青年部では食農教育の一環として、小学校児童を対象に稲刈り体験学習を実施しました。

この取り組みは、春の田植えから秋の稲刈りまでを体験して、児童たちに「食と農」の大切さを実感してもらおうと、10年以上前から行われています。10月14日には二ツ井小学校5年生40名が、大きく生長した稲穂に驚きながら、丁寧に収穫しました。また10月15日には第四小学校5年生94名が、黄金色に染まった圃場で元気に刈り取りを行いました。児童からは「普段何気なく食べているお米が、手間ひまかけ、大事に生長させて収穫していることがわかりました。これからは感謝の気持ちを忘れないでお米をいっぱい食べたいです」といった感想が聞かれました。



▲大きく生長した稲穂にっこり

出来たての新米をいち早く提供

生活課

安全・安心なJAの新米を、いち早く消費者へ提供しようと、JAは10月3日に農産物直売所みょうが館特設会場で新米直売会を開催しました。

当日は、開催時間前から購入を待ちわびていた消費者が列を作り、時間を15分前倒して販売を開始しました。購入者の車に米袋を運ぶ、ドライブスルー方式で対応し、購入者からは「新米直売会は毎年楽しみにしています。おいしい新米を味わいます」といった声が聞かれました。この日はあきたこまちの玄米1袋(30kg)を7,300円で販売し、新米797袋が売れJA米の人気の高さが伺えるとともに大盛況の直売会となりました。



▲新米を買い求める人で賑わった直売会



▲交通ルールを守ることをみんなで約束しました

超神ネイガーによる交通安全教室

JA共済

JA共済が主催する『超神ネイガー』の交通安全教室が、10月20日に能代カトリックこども園で開催され、園児達はヒーローから交通ルールを楽しく学びました。

交通教室では、①車道の近くで遊ばないこと・②車道を渡る際は横断歩道を利用すること・③渡る前に車が来ないか、必ず左右の確認をすることの3点について、ネイガー達がショーを交えて分かりやすく解説しました。最後には、交通安全ルルちゃんたちと一緒に交通安全ダンスを踊り、会場は大いに盛り上がりました。楽しい雰囲気の中で、交通安全について改めて理解を深めることができました。

